



女性の就業意向レポート

—入職者調査 2020年—

「入職者調査 2020年」は2020年1-12月に入職を経験した方を対象としたものです。
本レポートでは、コロナ禍で特に影響が大きいと言われる女性の就業意向についてまとめています。

<目次>

はじめに

1. コロナ禍における女性の就業状況と意識

45-69歳の就業希望あり非就業者の求職活動割合は前年と比べて上昇

2. 女性の就職時の希望と就業状況

離職期間が長いほど、就業形態はアルバイト・パートが多い

3. 仕事の選択理由

アルバイト・パートの就業形態を選んだ理由は「勤務時間や休暇を柔軟に調整できる」「勤務時間が短い」が全体よりも多い

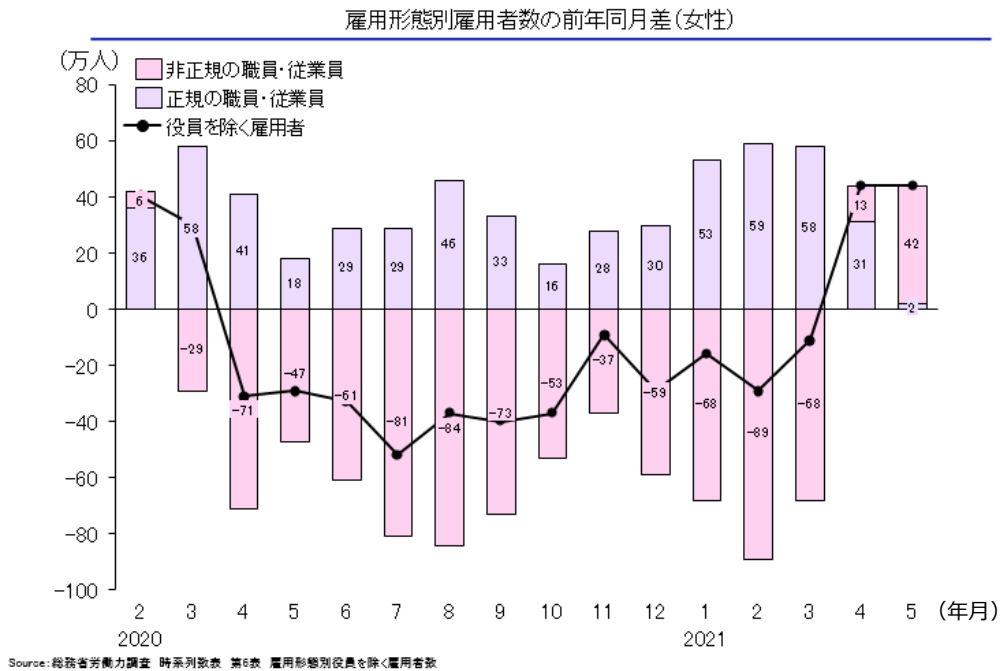
調査結果より、今後に向けて

- アンケート実施期間：
スクリーニング調査 2021年1月8日-1月18日 本調査 2021年1月22日-1月27日
- 有効回答数：スクリーニング調査 409,996 本調査 20,609
- 対象：全国15-69歳の男女、本調査はそのうち2020年1-12月の入職経験者

▶はじめに

■女性の就業状況（2020年）

2020年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、女性、特に非正規雇用で働く方の就業状況が悪化しました。総務省「労働力調査」によると、男女ともに就業数は2020年4月に前月比で大幅に減少、特に女性は男性の倍近い70万人が減少しました。女性の雇用形態別雇用者数（役員を除く）の前年同月差の推移を見ると、正規雇用者は継続的に増加している一方で、非正規雇用者は2020年3月から2021年3月まで、13か月連続で減少し、長期的に非正規で働く女性に影響があったことがわかります。



女性が長期的に活躍できる社会に向けて、「育児・介護との両立」や「再就業」、「指導的役割」といった課題もあります。たとえば、「育児・介護との両立」「再就業」について、1日の時間の使い方は、コロナ前と比較しても女性が男性の2倍以上、家事・育児をしている傾向は変わらないと指摘されています*1。このような状況下であっても新たに就業をした女性はどのような条件や意向を持っているのでしょうか。

さらに、女性が指導的地位に占める割合を2020年までに30%に増やすという政府目標は未達となっており、「2020年代の可能な限り早期に」*2として、最長10年程度先送りすることとなりました。女性の育成・登用をより一層進めていくことが求められていますが、女性の正社員雇用や、管理職就業につながる要件としてどのようなものがあるのでしょうか。

今回のレポートでは、就業者調査（2020年年間）の調査結果から、女性の就業を取り巻く状況について、特に女性が就業に対してどのような意識や希望を持っているのかに焦点をあてて整理していきます。

* 1 令和3年度版男女共同参画白書

* 2 第5次男女共同参画基本計画の「基本的な考え方」

1.コロナ禍における女性の就業状況と意識

▶ 2020年12月末時点の就業状況

女性全体では就業者は64.1%、年代別にみると15-64歳の幅広い世代でそれぞれ就業者が5割を超えています。特に、25-54歳の年代層は7割を超えて多く、子育て世代の女性も大半が働いていることがわかります。65-69歳でも3割が就業しています。

(%)

【女性, 年代別】	n=	就業者	内定者	非就業者
TOTAL	204,580	64.1	1.3	34.6
15-24歳	27,886	61.3	5.9	32.8
25-34歳	32,253	73.6	1.1	25.4
35-44歳	42,607	72.3	0.6	27.1
45-54歳	39,457	72.4	0.6	27.1
55-64歳	38,597	60.4	0.4	39.2
65-69歳	23,780	32.0	0.3	67.7

▶ 就業意向と求職活動

非就業者のうち、8.3%は仕事探し中（下記①）で、就業を希望しているが仕事を探していない（下記②）は10.3%でした。就業を希望しているが、仕事を探している割合が44.6%と半数以下であり、仕事探しをしていない女性の方が多いことがわかります。

求職活動の割合を年代別にみると、15-24歳が56.5%で最も多く、年代が上がるにつれて減少しますが、前年差に着目すると年代が上がるにつれて求職活動の割合が前年よりも増えています。

(%)

【女性, 年代別】	n=	非就業者			就業希望のある非就業者のうち求職活動をしている割合 (①/ (①+②))	前年差
		就業希望あり		就業希望なし		
		①仕事探し中	②仕事を探していない			
TOTAL	70,756	8.3	10.3	81.5	44.6%	2.0pt
15-24歳	9,156	14.3	11.0	74.7	56.5%	0.6pt
25-34歳	8,180	11.6	12.1	76.2	49.0%	-0.5pt
35-44歳	11,529	10.3	14.8	74.8	41.1%	-0.6pt
45-54歳	10,676	11.3	15.1	73.7	42.8%	2.6pt
55-64歳	15,125	5.8	8.6	85.5	40.2%	5.3pt
65-69歳	16,091	1.9	4.0	94.1	32.6%	7.7pt

Q. 2020年12月31日時点で仕事に就いていましたか。

仕事に就いていなかった方は、2020年12月31日時点での就業希望や就業の準備状況についてお答えください。

(対象：全員)

育児、介護・看護を行っている女性

調査では女性全体のうち、9%が「主に育児を行っている」、1%が「主に介護・看護を行っている」と回答しました。仕事との両立が求められる女性について確認しましょう。

▶就業状況

それぞれ就業者の割合をみると、「主に育児を行っている」が53.3%、「主に介護・看護を行っている」が38.2%で、「介護・看護」の方が仕事との両立がより難しい状況がうかがえます。前年差では、それぞれで就業者割合は上昇しており、「育児」や「介護・看護」と仕事を両立しながら働く女性が増加していることが分かります。

【女性, 主に行っていること別】	n=	就業者	内定者	非就業者
(参考) TOTAL	204,580	64.1	1.3	34.6
育児	17,463	53.3	0.8	45.9
介護・看護	1,942	38.2	0.9	60.9

(参考) TOTAL	2.3	-0.1	-2.2
育児	3.3	-0.3	-3.0
介護・看護	5.6	0.4	-6.0

▶就業意向と求職活動

非就業者のうち仕事探し中の割合は、「主に育児を行っている」5.7%、「主に介護・看護を行っている」8.1%でともに1割以下でした。

就業希望者の求職活動の割合は、「主に育児を行っている」38.5%、「主に介護・看護を行っている」39.2%でともに半数にも満たしておらず、働きたい気持ちはあるが仕事探しまでできていない女性が多いことがわかります。ただし、前年差に着目すると、「育児」、「介護・看護」それぞれ増加しています。

非就業者のみ	n=	非就業者			就業希望のある非就業者のうち就業活動をしている比率 (①/ (①+②))	前年差
		就業希望あり		就業希望なし		
		①仕事探し中	②仕事を探していない			
【女性, 主に行っていること別】						
TOTAL	70,756	8.3	10.3	81.5	44.6%	2.0pt
育児	8,017	5.7	9.1	85.2	38.5%	1.3pt
介護・看護	1,184	8.1	12.6	79.2	39.2%	4.8pt

Q. 2020年12月31日時点で仕事に就いていましたか。
仕事に就いていなかった方は、2020年12月31日時点での就業希望や就業の準備状況についてお答えください。
(対象：全員)

新型コロナウイルスの影響で新たに始めたこと、時間を増やしたこと

▶全体 上位10項目

男女あわせた全体では、「家計の見直し、節約」16.2%が最も多く、次いで「睡眠時間の増加」10.9%、「家事の時間を増やした」10.5%と続きます。

男女別に見ると、女性は「家計の見直し、節約」20.6%や「家事の時間を増やした」13.1%といった家事の変化、男性は仕事での「オンライン会議の利用・増加」10.4%、「テレワークの増加」9.7%など仕事に関連した変化が特徴的です。

(%)

【性年代別】	n=	家計の見直しした、節約するようになった	睡眠時間を増やした	家事の時間を増やした	趣味を始めた、時間を増やした	運動習慣を取り入れた、運動する時間を増やした	仕事でオンライン会議を利用し始めた、オンライン会議が増えた	貯蓄や資産運用に力を入れるようになった	勤務先以外で働くことが増えた、テレワークや在宅勤務が増えた	家族や友人とビデオ通話などオンラインでのコミュニケーションを増やした	就業場所・時間・職場環境・仕事内容などの変更について会社に要望・相談した
TOTAL	409,996	16.2	10.9	10.5	9.3	8.1	7.3	7.3	6.9	6.8	5.0
女性 TOTAL	204,580	20.6	12.3	13.1	9.8	8.6	4.2	6.6	4.2	9.1	3.9
男性 TOTAL	205,416	11.8	9.5	7.9	8.8	7.5	10.4	7.9	9.7	4.5	6.1

▶女性の年代別 上位10項目

女性の年代別に見ると、34歳以下では「趣味」や「オンラインでのコミュニケーション」などの割合が高く、35歳以上よりも多様なことに取り組んだ女性が多いようです。一方、35歳以上では「家計の見直し、節約」の割合が年齢が上がるほど多くなり、65-69歳では4人に1人の女性に取り組んだと回答していました。

(%)

【女性, 年代別】	n=	家計の見直しした、節約するようになった	家事の時間を増やした	睡眠時間を増やした	趣味を始めた、時間を増やした	家族や友人とビデオ通話などオンラインでのコミュニケーションを増やした	運動習慣を取り入れた、運動する時間を増やした	貯蓄や資産運用に力を入れるようになった	新しく仕事(主な仕事)を探し始めた、転職した	公的な給付金や手当を利用した、申請した(1人10万円の特定額給付金を除く)	通信環境を整えた
女性 TOTAL	204,580	20.6	13.1	12.3	9.8	9.1	8.6	6.6	5.3	5.3	4.3
15-24歳	27,886	12.4	11.8	22.0	20.8	16.0	10.5	6.4	10.2	4.2	7.8
25-34歳	32,253	20.4	15.0	13.1	10.6	12.5	9.2	11.0	7.6	6.6	4.4
35-44歳	42,607	19.4	13.2	11.3	7.3	7.2	7.9	7.7	5.8	6.5	4.5
45-54歳	39,457	20.8	12.2	10.1	6.6	5.0	7.2	5.8	4.7	5.6	4.3
55-64歳	38,597	24.1	12.5	9.4	7.5	7.4	7.6	4.8	2.7	4.4	3.0
65-69歳	23,780	26.8	14.1	9.9	9.5	9.5	11.1	3.3	0.9	3.6	2.3

Q.新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、ご自身が新たに取り組み始めたことや行っていることとして、当てはまるものをお答えください。(複数回答)

(対象：全員)

応募・就業意欲につながる企業のコロナ対策情報

▶ 上位10項目（2020年に仕事に就いた女性）

2020年に求職活動を行い、仕事に就いた女性に企業の新型コロナウイルス感染症対策で、応募・就業意欲につながった情報を聞きました。

全体では、「定期的に洗浄・消毒などを実施している」「求人情報に会社全体のコロナ対応策の記載がある」が上位にあげられました。

年代別に見ると、シニアほど「定期的に洗浄・消毒などを実施している」「対面での面接を空調に配慮した場所で開催している」が多く、対面環境の整備が応募・就業意欲につながったと回答しています。

15-24歳で「レジ等に飛沫防止の仕切りを設置している」が13.3%で、女性全体の平均よりも多く特徴的ですが、仕事内容としてレジなど対面環境で働く女性が多いといったことが影響しているでしょう。

また、若年ほど「面接をオンラインでも実施している」は応募・就業意欲につながったと回答している割合が高く、求職活動でインターネットを積極的に活用していることが分かります。

(%)

【性年代別】		n=	定期的に洗浄・消毒などを実施している	求人情報に会社全体のコロナ対応策の記載がある	対面での面接を空調に配慮した場所で開催している	レジ等に飛沫防止の仕切りを設置している	オフィスでの座席間隔を確保している	面接をオンラインでも実施している	在宅勤務を推奨している、在宅勤務ができる	会社説明会をオンラインで実施している	コロナ休業時に保険制度よりも手厚い補償がある	対面での会社説明会の人数を絞る大きな会場を用意するなど
TOTAL		20,609	13.6	10.9	7.7	7.4	6.9	6.4	5.8	4.1	4.1	4.0
女性	TOTAL	11,294	16.7	9.3	8.1	10.0	7.7	6.4	5.2	3.3	3.9	3.2
	15-24歳	3,642	16.6	9.3	5.8	13.3	6.1	7.8	5.2	4.2	3.6	3.5
	25-34歳	2,136	13.0	9.3	7.3	8.3	6.9	8.0	7.1	4.1	5.1	3.1
	35-44歳	2,189	15.1	9.3	8.0	8.5	8.3	5.1	5.5	3.1	4.4	3.3
	45-54歳	1,722	17.8	8.6	8.7	8.8	9.1	5.4	4.7	2.2	3.6	2.3
	55-64歳	1,150	20.9	9.5	12.0	8.4	9.7	4.2	2.9	1.7	3.1	3.1
	65-69歳	455	26.6	10.0	17.0	7.1	10.8	2.9	3.7	2.1	1.2	3.7
男性	TOTAL	9,315	10.0	12.8	7.4	4.3	5.9	6.4	6.4	5.1	4.3	5.0

Q. 「直近に就いた仕事」への応募、就業意思を決めるにあたって、次の企業が行っている「新型コロナウイルス感染症への対応策」のうち、応募意欲や就業意欲を上げることに役立つ情報をお答えください。（複数回答）

（対象：2020年1月～12月に求職活動があり入職した）

2.女性の就職時の希望と就業状況

2020年1月～12月に働き始めた女性

▶ 就業形態

2020年に仕事に就いた女性は「アルバイト・パート」が45.6%、「正社員」が34.1%でした。仕事に就くまでの離職期間別に見ると、離職期間が長いほど「正社員」の割合が低下し、「アルバイト・パート」の割合が上昇しています。離職期間が2年を超えると、「正社員」13.0%に対し、「アルバイト・パート」68.0%で正社員として働き始めた女性は1割程度でした。なお、男性は離職期間による就業形態の大きな違いはありません。

(%)

【性別】 【離職期間別】	n=	正社員	契約社員	アルバイト・パート	派遣社員	その他
TOTAL	20,609	34.1	6.2	45.6	7.7	6.3
男性 TOTAL	9,315	48.4	7.0	31.3	4.6	8.6
女性 TOTAL	11,294	22.3	5.6	57.4	10.2	4.5
1か月以内	3,701	25.1	6.7	51.9	12.3	4.0
1か月超～3か月以内	1,924	20.2	6.6	55.8	14.1	3.3
3か月超～6か月以内	1,254	17.9	5.6	60.7	12.2	3.6
6か月超～1年以内	1,150	16.3	6.0	62.0	9.1	6.6
1年超～2年以内	691	15.3	6.2	64.6	10.0	3.9
2年超	1,090	13.0	4.4	68.0	5.6	8.9
直近に就いた仕事の前には仕事に就いたことがない	1,484	36.5	2.0	55.9	2.4	3.2

Q. 「直近に就いた仕事」の就業形態の呼称として最も近いものをお答えください。(単一回答)
(対象：2020年1月～12月に求職活動があり入職した)

▶ 正社員の限定対象

正社員で働く女性の限定は、「仕事内容」39.9%が最も多く、次いで「働く地域」20.6%、「働く時間」7.8%で、「特に制限はない」は43.8%でした。何らかの限定がある女性は男性よりも多く、5割程度います。年齢別では、25-34歳と55-64歳で労働時間の短縮の割合が大きく、正社員として就業しつつ子育てや介護との両立するためと考えられます。

(%)

【性年代別, 不明除く】	n=	限(従 定仕事 さ事す れ内る て容職 い)種 るが	縮て正通 さ労社常 れ働員 て時とフ い間比ル るが較勤 短し務	さ働 れく て地 い域 るが 限 定	限そ 定の さ他 れの て内 い容 るが	特 に 制 限 は な い
TOTAL	5,979	35.2	9.4	14.5	0.1	50.9
男性 TOTAL	3,938	32.8	10.4	11.3	0.1	54.6
女性 TOTAL	2,041	39.9	7.8	20.6	0.0	43.8
15-24歳	708	36.6	5.9	26.7	0.0	41.9
25-34歳	526	43.3	9.1	18.1	0.0	42.2
35-44歳	410	38.3	8.8	17.8	0.0	48.3
45-54歳	260	41.9	5.8	15.0	0.0	48.1
55-64歳	111	41.4	10.8	20.7	0.9	38.7
65-69歳	26	57.7	23.1	7.7	0.0	34.6

※女性×65-69歳はn数が少ないためグレーアウトしている

Q. 「直近に就いた仕事」が正社員の場合) 当てはまる制限はありますか。(複数回答)
(対象：2020年1月～12月に求職活動があり入職かつ就業形態が正社員)

2020年1月～12月に働き始めた女性

▶前職の離職理由

前職の離職理由の女性上位10項目をみると、「給与・報酬が少なかった」16.5%、「勤め先での人間関係がうまくいかなかった」15.7%が特に多い結果です。

女性正社員では、その他社員と比べて「給与・報酬が少なかった」「勤め先での人間関係がうまくいかなかった」「会社の経営方針に不満を感じていた」「労働時間が長かった」「残業が多かった」「結婚した」などの回答が多くなっています。また、「出産・育児」の回答は、女性では正社員・その他社員ともみられるものの、男性ではほとんどいない結果です。

※こちらの調査では、2020年年間で新たに就業した方が対象となっているため、前職を離職した後再就業していない方は含まれていません

(%)

前職の離職理由（女性TOTALでの降順）	【性別×前職の就業形態別】			
	女性	男性		
	TOTAL	正社員	その他社員	TOTAL
n=	9,809	2,655	6,846	7,561
給与・報酬が少なかったから	16.5	19.1	15.4	24.0
勤め先での人間関係がうまくいかなかったから	15.7	19.2	14.7	12.9
時間的・肉体的に負担が大きかったから	6.5	8.4	5.8	4.2
健康がすぐれなかったから	6.2	6.7	5.9	4.8
一時的についた仕事だったから	5.8	1.2	7.5	4.9
仕事内容が面白くなかったから	5.5	6.1	5.3	6.9
出産・育児のため	4.8	5.7	4.5	0.2
通勤時間が長かったから	4.6	5.4	4.4	4.6
会社の経営方針に不満を感じていたから	4.5	7.9	3.3	4.7
労働時間が長かったから	4.3	9.1	2.4	5.9
結婚したから	3.6	8.3	1.7	0.2
残業が多かったから	4.1	8.9	2.3	4.2
仕事の責任が重かったため	4.0	5.1	3.7	2.2

Q. 「直前に就いた仕事の直前の仕事」を辞めた理由として当てはまるものをお答えください。（回答は3つまで）
（対象：直前に就いていた仕事があり、2020年1月～12月に求職活動があり入職した）

2020年1月～12月に働き始めた女性

▶ 仕事をする上で重視する事柄

仕事をする上で重視する事柄は、男女ともに「報酬・賃金」が約5割で最も多く、次いで「仕事内容」約3割です。女性の年代別に見ると、年齢が上がるほど「仕事内容」や「通勤の利便性」を重視していますが、25-44歳女性は「休日の取得状況（日数、曜日、シフト調整）」を重視しており子育てなどと両立するためと考えられます。

(%)

【性×年代別】		n=	報酬・賃金	勤務地・転勤の有無	通勤の利便性	労働時間数（残業含む）	勤務時間帯（開始時間と終了時間）	有給・長期休暇の取りやすさ	休日の取得状況（日数、曜日、シフト調整）	仕事内容	身につくスキル・専門性	裁量の大きさ	責任の重さ	人間関係・職場の雰囲気	オフィス環境	評価・処遇	雇用の安定性
TOTAL		19,485	55.3	17.2	27.2	17.0	22.2	8.2	19.9	29.1	5.7	0.9	1.7	25.1	1.6	1.6	7.5
女性	TOTAL	10,658	53.2	14.5	32.1	16.5	28.8	8.7	24.1	29.3	4.5	0.4	1.5	29.4	1.8	0.9	6.1
	女×15-24歳	3,438	63.8	14.0	27.4	15.0	18.5	8.8	25.1	25.9	6.1	0.4	1.4	31.9	1.6	0.9	4.8
	女×25-34歳	2,002	53.9	17.6	26.5	18.7	29.2	11.1	29.8	26.6	4.5	0.5	1.5	28.4	1.9	1.0	5.3
	女×35-44歳	2,080	48.5	15.1	32.3	17.6	37.7	9.5	27.9	27.7	3.4	0.3	1.2	28.8	2.1	0.6	6.2
	女×45-54歳	1,645	48.9	14.2	36.8	15.7	33.6	7.1	20.7	33.8	3.8	0.3	1.5	30.5	2.1	1.0	7.7
	女×55-64歳	1,084	40.6	11.7	42.7	15.7	33.4	6.3	13.9	37.9	2.8	0.5	2.1	25.4	1.5	1.1	9.6
	女×65-69歳	410	35.9	7.8	50.2	19.8	38.2	5.1	8.8	39.2	3.2	0.5	2.3	21.2	1.4	1.4	4.6
男性	TOTAL	8,826	57.9	20.5	21.4	17.6	14.2	7.7	14.9	28.9	7.2	1.5	2.0	19.9	1.4	2.4	9.1

Q. 仕事をする上で重視する事柄について当てはまるものをお答えください。現在、特に重視する事柄（回答は3つまで）
（対象：2020年1月～12月に求職活動があり入職した）

▶ 前職×現職の就業形態別 仕事をする上で重視する事柄

前職と現職の就業形態別では、「正社員から他社員」を見ると、「勤務時間帯（開始時間と終了時間）」36.6%が女性全体より多く、「報酬・賃金」は48.7%で全体や「正社員から正社員」よりも少なく、重視の優先順位の違いと考えられます。

「他社員から正社員」は「人間関係・職場の雰囲気」37.4%が全体よりも多く重視していることが分かります。

(%)

【前職の就業形態】		【現職の就業形態】		n=	報酬・賃金	勤務地・転勤の有無	通勤の利便性	労働時間数（残業含む）	勤務時間帯（開始時間と終了時間）	有給・長期休暇の取りやすさ	休日の取得状況（日数、曜日、シフト調整）	仕事内容	身につくスキル・専門性	裁量の大きさ	責任の重さ	人間関係・職場の雰囲気	オフィス環境	評価・処遇	雇用の安定性
女性	TOTAL	TOTAL		9,287	52.3	14.4	33.1	16.9	30.7	8.1	24.3	29.7	4.2	0.4	1.5	29.0	1.8	0.9	6.1
		正社員		1,919	60.3	18.8	23.3	15.9	17.6	13.4	27.6	26.2	6.7	0.4	1.5	32.6	1.6	1.6	9.5
		他社員		7,014	50.2	13.3	36.4	17.1	34.4	6.9	23.7	30.1	3.3	0.4	1.5	28.5	1.9	0.6	5.1
		その他		353	50.3	11.3	20.3	17.8	29.5	3.5	17.4	39.9	10.1	1.3	2.4	17.6	0.6	2.4	6.8
	正社員	TOTAL		2,541	56.0	16.2	26.6	17.3	25.5	11.2	27.5	27.4	5.2	0.4	1.9	29.7	1.8	1.5	7.8
		正社員		1,358	62.0	17.9	23.2	15.5	16.8	13.0	27.7	25.5	6.3	0.6	1.7	30.4	1.7	2.0	9.4
		他社員		1,110	48.7	13.8	31.3	19.3	36.6	9.6	28.2	28.3	3.2	0.2	2.1	29.9	2.1	0.7	5.9
		その他		74	53.8	19.7	18.8	19.7	17.9	3.2	13.4	48.7	14.1	1.6	1.6	14.2	0.0	3.2	8.0
	他社員	TOTAL		6,455	50.9	13.8	35.7	16.9	32.8	7.0	23.2	30.5	3.7	0.4	1.4	29.0	1.9	0.7	5.5
		正社員		544	56.8	21.5	24.2	17.4	19.5	13.8	27.8	28.2	7.5	0.1	1.1	37.4	1.4	0.6	10.1
		他社員		5,756	50.6	13.2	37.2	16.7	33.8	6.5	22.7	30.6	3.3	0.4	1.4	28.4	2.0	0.6	5.0
		その他		154	43.9	11.0	18.0	20.6	41.1	2.4	22.0	34.3	6.9	1.8	4.3	21.4	1.3	2.7	5.7
男性	TOTAL	TOTAL		7,210	57.4	20.0	22.8	17.1	14.7	7.6	15.0	29.4	6.7	1.7	1.9	20.9	1.5	2.6	8.7

※「正社員からその他」はn数が少ないためグレーアウトしている

Q. 仕事をする上で重視する事柄について当てはまるものをお答えください。現在、特に重視する事柄（回答は3つまで）
（対象：直前に就いていた仕事があり、2020年1月～12月に求職活動があり入職した）

3.仕事の選択理由

2020年1月～12月に働き始めた女性

▶ 就業形態を選んだ理由

2020年に仕事に就いた女性がその就業形態を選んだ理由は、全体では「勤務時間や休暇を柔軟に調整できるから」30.9%が最も多く、次いで「勤務時間が短いから」22.5%と続きます。

特にアルバイト・パートは「勤務時間や休暇を柔軟に調整できるから」40.7%、「勤務時間が短いから」33.3%で全体よりも多く、他就業形態よりもその点を重視する女性が多いことがわかります。また、派遣社員は「一番早く決まった仕事だったから」25.2%が全体よりも多く、派遣社員を選択した理由として、賃金や勤務時間の柔軟性よりも一番多い理由でもあります。

【女性, 就業形態別】	n=	勤務時間					勤務地		仕事内容					賃金	就業形態					その他
		勤務時間が短いから	残業がないから	勤務時間や休暇を柔軟に調整できるから	休日の日数が多いから	雇用期間が長いから	仕事を続けようと思つている期間が短いから	転勤が無いから	社内（社外）での教育や研修の機会が多いから	キャリアアップにつながるから	裁量が大きく責任のある仕事だから	責任があまり大きくないから	給与・報酬が高いから	正規の仕事がなかったから	態だったから	入りたい会社で募集している唯一の就業形態だったから	希望している職種で募集する唯一の就業形態だったから	一番早く決まった仕事だったから		
TOTAL	11,294	22.5	13.1	30.9	10.3	5.2	9.7	6.8	0.9	4.9	0.9	10.6	11.3	6.1	4.4	6.6	13.3	6.7		
正社員	2,518	6.1	12.9	11.4	12.3	13.0	3.0	11.1	2.6	12.5	2.6	5.9	19.4	1.5	6.8	10.6	17.0	3.7		
契約社員	634	8.4	17.6	17.2	7.4	6.2	8.0	8.6	0.7	2.7	1.0	10.0	7.8	19.0	12.5	11.0	17.5	5.1		
アルバイト・パート	6,485	33.3	12.6	40.7	11.0	2.5	12.0	5.0	0.3	2.3	0.2	11.7	6.9	4.7	3.1	4.5	9.6	8.0		
派遣社員	1,152	9.3	15.5	22.1	5.7	3.0	14.4	7.6	0.5	3.9	0.1	15.8	21.0	17.1	2.1	5.5	25.2	3.8		
その他	505	15.0	8.2	39.8	5.4	3.8	5.5	3.6	1.1	6.2	2.9	8.3	10.0	5.4	4.5	9.4	8.7	14.0		

Q. 「直近に就いた仕事」の就業形態を選んだ理由として当てはまるものをお答えください。（回答は3つまで）
 （対象：2020年1月～12月に求職活動があり入職した）

2020年1月～12月に働き始めた女性

▶就業形態×年代別 就業形態を選んだ理由

年代別では、アルバイト・パートでは、「勤務時間や休暇を柔軟に調整できるから」は特に35-44歳で回答割合が高く、子育てなどとの両立のためと考えられます。シニアにかけては「勤務時間が短いから」の回答割合が上昇しており、勤務時間面で希望にあわせて働ける仕事としてアルバイト・パートが選択されているとみられます。

就業形態別では、アルバイト・パートは「勤務時間が短いから」がシニアにかけて回答割合が増えています。派遣は15-24歳で「給与・報酬が高いから」が37.1%と高く、シニアにかけて「正規の仕事がなかったから」の回答割合が増え、年代によって理由が変化しています。

		勤務時間							勤務地				仕事内容				賃金	就業形態				その他
		勤務時間が短いから	残業がないから	勤務時間や休暇を柔軟に調整できるから	休日の日数が多いから	雇用期間が長いから	仕事を続けようと思っている期間が短いから	転勤が無いから	社内（社外）での教育や研修の機会が多いから	キャリアアップにつながるから	裁量が大きく責任のある仕事だから	責任があまり大きくないから	給与・報酬が高いから	正規の仕事がなかったから	入りたい会社で募集している唯一の就業形態だったから	希望している職種で募集する唯一の就業形態だったから	一番早く決まった仕事だったから					
【女性, 就業形態別】		n=																				
TOTAL	TOTAL	11,294	22.5	13.1	30.9	10.3	5.2	9.7	6.8	0.9	4.9	0.9	10.6	11.3	6.1	4.4	6.6	13.3	6.7			
	15-24歳	3,642	16.1	9.4	30.1	9.2	5.3	13.8	4.9	1.2	6.2	0.9	8.1	14.0	3.0	4.8	5.9	13.1	9.9			
	25-34歳	2,136	21.4	17.8	30.2	11.6	4.9	11.1	8.7	1.0	6.1	0.8	13.5	11.7	5.2	4.9	6.2	11.7	5.3			
	35-44歳	2,189	25.4	15.0	34.1	11.2	4.8	5.9	7.6	0.7	4.1	1.0	10.7	10.2	7.3	3.9	5.7	14.7	5.2			
	45-54歳	1,722	23.8	12.7	30.0	9.4	4.7	5.7	7.7	0.7	4.5	0.5	11.0	9.3	9.8	4.3	6.5	15.4	5.3			
	55-64歳	1,150	29.7	13.6	30.7	9.7	6.0	7.6	6.2	0.4	2.7	1.2	10.9	8.8	9.4	3.8	8.3	12.2	4.0			
65-69歳	455	42.7	11.2	28.6	14.1	6.6	8.7	6.6	0.4	0.4	1.2	13.7	6.6	6.2	3.3	12.9	9.5	7.1				
正社員	TOTAL	2,518	6.1	12.9	11.4	12.3	13.0	3.0	11.1	2.6	12.5	2.6	5.9	19.4	1.5	6.8	10.6	17.0	3.7			
	15-24歳	932	3.7	10.3	9.3	12.1	14.3	2.3	10.3	3.4	13.2	2.9	3.7	21.0	0.9	9.1	12.7	18.4	3.4			
	25-34歳	638	8.1	17.1	11.1	12.8	11.9	4.3	11.1	2.6	14.1	2.3	7.2	20.7	1.5	5.5	9.4	13.4	3.6			
	35-44歳	496	6.6	12.0	12.2	13.1	12.0	2.5	12.3	2.3	11.9	2.8	6.3	18.3	1.1	5.6	9.4	19.4	3.6			
	45-54歳	297	6.7	12.3	13.1	10.7	12.9	1.8	9.7	1.6	10.5	1.2	8.5	14.9	2.2	4.2	9.3	19.2	4.8			
	55-64歳	127	4.6	13.2	21.8	9.2	14.4	5.2	12.6	1.1	9.2	4.6	6.3	16.1	6.3	6.9	9.2	13.8	3.4			
65-69歳	28	26.7	20.0	6.7	20.0	6.7	6.7	20.0	0.0	0.0	6.7	13.3	20.0	0.0	6.7	13.3	6.7	6.7				
契約社員	TOTAL	634	8.4	17.6	17.2	7.4	6.2	8.0	8.6	0.7	2.7	1.0	10.0	7.8	19.0	12.5	11.0	17.5	5.1			
	15-24歳	115	4.3	11.6	14.5	5.8	4.3	7.2	5.8	1.4	4.3	0.0	13.0	8.7	17.4	15.9	8.7	18.8	5.8			
	25-34歳	138	6.1	27.0	14.8	7.8	2.6	13.0	11.3	0.0	3.5	0.0	7.8	7.0	10.4	13.9	13.9	19.1	6.1			
	35-44歳	149	7.3	18.2	19.3	9.4	3.6	6.8	11.5	1.0	1.6	0.5	8.3	5.2	21.9	12.0	10.9	15.6	7.3			
	45-54歳	126	9.3	13.0	17.2	7.9	6.0	4.2	6.5	0.5	1.9	0.5	7.4	5.6	24.2	11.6	9.8	20.0	3.7			
	55-64歳	82	9.8	14.3	17.0	4.5	12.5	10.7	8.9	0.9	3.6	1.8	9.8	8.9	23.2	8.9	12.5	15.2	1.8			
65-69歳	25	38.5	23.1	30.8	7.7	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	30.8	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	0.0				
アルバイト パート	TOTAL	6,485	33.3	12.6	40.7	11.0	2.5	12.0	5.0	0.3	2.3	0.2	11.7	6.9	4.7	3.1	4.5	9.6	8.0			
	15-24歳	2,365	22.2	8.5	38.8	8.8	1.8	18.4	2.5	0.4	3.8	0.2	9.2	10.0	2.7	2.8	3.2	10.3	12.9			
	25-34歳	995	36.1	16.9	43.7	12.7	1.7	13.6	7.6	0.1	1.6	0.1	15.8	5.1	4.5	3.5	3.6	8.4	6.4			
	35-44歳	1,156	40.6	16.4	47.8	12.6	2.3	5.8	5.6	0.1	1.2	0.1	12.5	5.6	5.2	2.5	4.0	8.9	5.4			
	45-54歳	938	37.1	12.9	40.1	11.6	2.8	6.8	7.3	0.3	2.3	0.2	11.8	5.3	7.5	3.8	5.5	10.1	4.8			
	55-64歳	709	41.7	14.1	35.8	11.0	4.6	6.4	4.7	0.3	1.1	0.2	11.7	4.3	7.1	3.3	6.7	10.0	3.7			
65-69歳	321	49.4	12.4	32.4	14.7	5.9	9.4	7.1	0.6	0.0	0.0	14.1	3.5	4.1	3.5	11.2	8.8	5.3				
派遣社員	TOTAL	1,152	9.3	15.5	22.1	5.7	3.0	14.4	7.6	0.5	3.9	0.1	15.8	21.0	17.1	2.1	5.5	25.2	3.8			
	15-24歳	148	5.6	14.6	27.0	4.5	4.5	19.1	10.1	0.0	4.5	0.0	10.1	37.1	10.1	0.0	3.4	24.7	5.6			
	25-34歳	262	8.3	21.6	24.8	8.7	2.8	21.6	8.3	0.5	4.6	0.0	25.2	17.4	13.3	2.8	3.7	19.3	3.2			
	35-44歳	285	9.8	15.8	21.0	5.2	3.8	11.2	7.1	0.3	3.0	0.3	15.0	17.4	20.2	2.7	3.5	30.0	2.7			
	45-54歳	268	6.8	13.2	19.3	3.3	2.2	7.7	7.9	1.3	5.5	0.0	14.0	18.9	20.4	2.6	4.2	28.5	5.7			
	55-64歳	154	11.9	13.3	19.0	8.6	2.4	13.8	6.2	0.5	1.9	0.0	13.3	24.3	16.7	1.4	10.5	22.4	2.4			
65-69歳	36	36.8	0.0	26.3	0.0	0.0	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	26.3	0.0	31.6	21.1	0.0				
その他	TOTAL	505	15.0	8.2	39.8	5.4	3.8	5.5	3.6	1.1	6.2	2.9	8.3	10.0	5.4	4.5	9.4	8.7	14.0			
	15-24歳	83	18.0	12.0	46.0	0.0	8.0	12.0	0.0	2.0	4.0	0.0	14.0	14.0	0.0	6.0	10.0	6.0	12.0			
	25-34歳	103	15.1	9.3	52.3	7.0	1.2	0.0	2.3	2.3	7.0	2.3	9.3	11.6	8.1	8.1	7.0	3.5	10.5			
	35-44歳	102	14.4	5.3	43.9	4.5	2.3	8.3	3.0	0.8	6.1	4.5	3.0	10.6	4.5	3.0	6.8	15.2	14.4			
	45-54歳	93	12.6	10.7	29.6	1.9	3.8	3.8	6.9	0.6	8.2	2.5	6.3	9.4	7.5	4.4	10.7	12.6	12.6			
	55-64歳	78	17.0	8.5	36.8	5.7	4.7	7.5	5.7	0.0	6.6	6.6	7.5	6.6	6.6	2.8	12.3	5.7	13.2			
65-69歳	45	12.5	0.0	16.7	20.8	4.2	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	12.5	4.2	4.2	0.0	12.5	8.3	29.2				

※アルバイト・パートを除く各就業形態の65-69歳はn数が少ないためグレーアウトしている

Q. 「直近に就いた仕事」の就業形態を選んだ理由として当てはまるものをお答えください。(回答は3つまで)
 (対象：2020年1月～12月に求職活動があり入職した)

正社員（管理職）女性の特徴

▶ 仕事を選んだ理由

仕事を選んだ理由について、正社員（管理職）では「高い収入が得られるから」16.4%や「自分の専門知識や能力が活かせるから」19.7%が正社員（管理職以外）や他社員と比べ多いことがわかります。一方、「残業がないから」3.5%や「人間関係がよさそうだから」8.0%は、正社員（管理職以外）や他社員が1割を超えているなか正社員（管理職）は1割以下に留まっています。

(%)

【女性、直近に就いた仕事の就業形態別】		正社員 (管理職)	正社員 (管理職以外)	他社員	その他
n=		133	2,385	8,271	312
賃金・労働条件	収入が安定しているから	38.8	34.2	12.2	10.7
	高い収入が得られるから	16.4	8.4	10.6	5.6
	賃金以外の労働条件がよかったから	10.2	9.7	11.4	6.5
勤務時間	残業がないから	3.5	12.0	11.5	7.0
	勤務時間や休暇を柔軟に調整できるから	11.1	11.5	27.9	25.9
仕事内容	自分にとって楽しいから	11.7	10.8	13.5	19.6
	満足のいく仕事内容ができそうだから	6.6	10.2	5.3	8.8
	自分の専門知識や能力が活かせるから	19.7	13.0	8.1	15.2
	裁量が大きく責任のある仕事だから	0.6	0.4	0.1	1.0
	能力・実績が正当に評価されそうだから	5.8	2.8	0.8	1.1
	キャリアアップにつながるから	2.6	7.4	3.4	3.0
	世の中のためになるから	3.0	2.9	1.4	4.9
	健康を損なう心配がないから	2.2	2.8	2.3	4.7
会社・仕事の状況	人間関係がよさそうだから	8.0	14.8	12.2	8.6
	失業の心配がないから	7.4	8.1	3.2	6.0
	会社の将来性を感じたから	1.8	4.8	1.0	2.1
勤務地	勤務地が近いから、通いやすいから	28.8	28.7	47.1	21.3
	テレワークや在宅勤務などが可能だから	3.6	2.4	1.5	15.6
	車での通勤が可能だから	8.1	8.6	9.9	7.7
その他	3.1	3.4	4.4	7.5	

Q. 「直近に就いた仕事」を選んだ理由として当てはまるものをお答えください。（回答は3つまで）
 （対象：2020年1月～12月に求職活動があり入職した）

▶ 調査結果より、今後に向けて

■ コロナ禍における女性の就業状況と意識

女性の非就業者で就業を希望しているうち、仕事探し中の割合は若年のほうが高くなっています。また、前年同期と比較すると、シニアで仕事探し中の割合が上昇しています。

新型コロナウイルス感染症対策のうち応募・就業意欲につながった情報では、シニアほど対面環境の整備が応募・就業意欲につながったと回答しており、企業がこういった取り組みを実施・情報提示を行っていくことが、応募・就業につながると考えられます。

また、新型コロナウイルスの影響を受けて新たに始めたこと、時間を増やしたことは、家事の増加状況に男女差が見られ、特に25-34歳では男女差が大きいです。新型コロナウイルスの影響でより一層家事が女性に偏っている可能性があり、これらの状況を踏まえ、女性の就業活動の支援を行っていく必要があります。

■ 女性の就職時の希望と就業状況

女性では、離職期間が長いほど直近に就いた仕事の就業形態が正社員である割合が低下し、アルバイト・パートの割合が上昇しています。出産や育児、介護などによって離職が長期化すると、正社員での再就業がより難しくなっていると考えられます。

仕事をする上で重視する事柄は、特に25-44歳女性は「休日の取得状況（日数、曜日、シフト調整）」を重視しています。さらに、前職と現職の就業形態別では「正社員から他社員」で「勤務時間帯（開始時間と終了時間）」を重視する傾向が見られ、希望する勤務時間帯に就業できる仕事を選ぶために、非正規へ転換していることがうかがえます。報酬賃金や仕事内容だけではなく、柔軟に働ける環境であることが重要であると考えられます。

■ 仕事の選択理由

仕事の就業形態を選んだ理由は、アルバイト・パートでは「勤務時間や休暇を柔軟に調整できるから」が特に35-44歳で回答割合が高く、子育てなどをしながら働く上で、時間を理由にアルバイト・パートを選択しているとみられます。また、派遣社員は「一番早く決まった仕事だったから」が、賃金や勤務時間の柔軟性よりも多い理由です。結果として、就業希望女性の希望条件に合う仕事が、正社員以外の案件に偏ってしまっている可能性があります。正社員でも女性の希望する働き方が実現できるようになれば就業形態の選択肢の幅が広がるでしょう。

また、正社員のうち管理職の仕事を選んだ理由は「高い収入が得られるから」「自分の専門知識や能力が活かせるから」が、管理職以外の正社員と比較して高い結果です。管理職として活躍する女性を増やすためには、これらを満たせるポストやキャリアアップを喚起する仕掛けを用意していくことが一助となるでしょう。